

わくわく

7・8月号

本だな

1 2 3 年



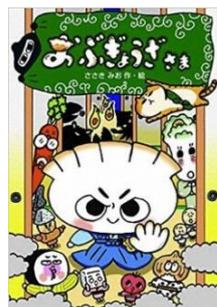
えほん

E 『わたしのペットはまんまるいし』
ステューブンW. マーティン／作 サマンサ・コッター／絵
久保陽子／訳 ポプラ社
シャーロットは、なにかペットがほしくてたまりません。すると、りょうしんが大きくてまんまるな石をかってきてくれました。シャーロットは、まんまる石を大切にしていたのですが、ある日、ひびが入ってしまいます。

ものがたり

K913 『おぶぎょうざさま』

ささきみお／作・絵 文研出版
食べ物たちがくらす、えどの町。長生きの湯では、おふろをひとりじめしようと、カニが門の前ではさみをふりまわしています。そこへ、おぶぎょうざさまがあらわれました。ぎょうざ頭をぱかっとひらき、キャベツをとり出すと、カニになげつけます。



ものがたり



K913 『ぼくは おじいちゃんのおにいちゃん』
堀直子／作 田中六大／絵 ポプラ社
おじいちゃんが、カイトの家でくらすことになりました。おじいちゃんは、いろいろなことをわすれてしまうびょうきです。まごのカイトのことを「まもるにいちゃん」とよびます。それに、くすりを飲まないし、おふろにも入りません。

ちしきのほん

E 『ようこそ!ここはみんなのがっこうだよ』
アレクザンドラ・ペンフォールド／作 スーザン・カウフマン／絵
吉上恭太／訳 鈴木出版
この学校には、いろいろな子がいます。朝のおいのりをする子、遠くの国からやってきた子、車いすにのっている子。でも、心ばいいりません。みんなでいっしょに遊んだり学んだり、楽しくすごしています。



わ く わ く

7・8月号

本 だ な

4 5 6 年



物語



K913 『 ^{トラブル}旅行社 ^{さばく}砂漠の^がフルーツ狩りツアー 』
 廣嶋玲子／文 コマツシヤ／絵 金の星社
 大悟は、家族みんなで飲むためのジュースをうっかり飲みほしてしまいました。あちこちで同じジュースを探し回るうちに、トラブルを^{かいけつ}解決できるという、〈トラブル旅行社〉にたどりつきます。ジュースを^{さいげん}再現するため、砂漠のフルーツ狩りツアーへ出発！

物語

K913 『 ^{まじよ}魔女ラグになれた夏 』

藤内明子／著 PHP 研究所
 三姉妹の末っ子の岬は、自己^{じこしゅちゆう}主張が苦手です。けれどもまわりをよく見ていて、このごろは姉の富美ちゃんのことを気がかりです。
 富美ちゃんは、半年ぶりに家族がそろった夕食で、父に不満をぶついたり、とつぜんアルバイトがしたいと言いだしたり。岬には、富美ちゃんが何を考えているのか分かりません。



物語

K913 『 ^{ほんのうじ}本能寺の敵 ^{しゆりけん}キリサク手裏剣 』

加部鈴子／作 田中寛崇／画 くもん出版
 忍者の訓練を受けて育った涼音は、明智光秀の屋敷で働いています。ある日、野原で遊んでいた光秀の孫娘がいなくなりました。さらったのは、涼音の昔のなかま、^{ふうと}風斗です。
 さらに屋敷では、若君に眠り薬がもらわれ、奥方に毒がもられます。涼音は、すべて風斗のしわざではないかと^{うたが}疑います。



ちしきの本

K383 『 ホントに食べる？世界をすくう虫のすべて 』

内山昭一／監修 文研出版
 ゴキブリのバター^や焼きにバッタの天ぷら、コオロギカレー……。世界では、20億人が約1900種類の虫を食べています。虫は、少しのエサで^{せいちよう}成長し、食べられる部分も多いので、地球を^{すく}救う^{しょくざい}食材になると言われています。おいしい虫の食べ方を大公開。

